

鵜川ダム着工式

鵜川治水ダムの本体建設工事に伴う安全祈願祭と着工式が平成16年10月5日、柏崎市大字清水谷地内のダム左岸の広場で行われました。

着工式には、鵜川改修事業促進対策協議会（深田乙作会長）の関係者、地権者、前田建設、東急建設、植木組など施行企業関係者を含む、約100人が出席しました。主催者の西川市長から「財政は厳しく、公共事業に対する様々な意見もあるが、それによって守られてきた人も少なくない」と挨拶。続いて平山県知事（代行）、北陸地方整備局長、県議ら九人が鍬入れを行い、工事の着実な進展を願いました。

鵜川ダムは今後、平成30年の竣工を目指して転流工、本体基礎掘削、洪水吐コンクリート打設、本体盛立等の工事が進められます。



14年後の完成を目指して関係者らによる鍬入れ